



横浜市では、18区に社会福祉協議会があり、区域に「神奈川県社会福祉協議会」(神奈川県社協)、地域ごとに「地区社会福祉協議会」(地区社協)が組織されています。

福祉教育で広がる地域の輪

～区社協事業の一つである福祉教育・啓発事業を紹介します～

私たち神奈川県社会福祉協議会は地域のみなさまをはじめ、福祉保健関係機関・施設や学校、企業等との連携・協働により「誰もが安心、安全に自分らしく暮らせる」まちづくりを目指して、様々な事業・業務を行っています。今回は、社会福祉協議会の大切な事業の一つである「福祉教育」の実践事例を紹介します。

二谷小学校での福祉教育

昨年12月、二谷小学校の4年生を対象に人権週間に合わせ福祉教育の授業を行いました。

当日は「互いに認め合うことの大切さについて考え、自他の人権を尊重する態度を育てる」をテーマに、障害のある当事者からの講話と、保護者による学校ボランティア3名と2つの地域ケアプラザ(反町・六角橋)に協力いただき車いす体験をしました。

電動車いすユーザーである講師の「車いすを使っているからといって“かわいそうな人”と決めつけないで!」「助けてと言われたら、助けてね!」との話に刺激を受けた児童も多くいました。また車いす体験では、「(車いす乗車時と歩行時の)見える景色が全然違う」などの感想がありました。

子どもたちにとって、「自分の大切さと相手の大切さを認め合う」機会になったのではないのでしょうか。



神奈川大学での福祉学習

昨年6月、神奈川大学の共通教養科目「ボランティア論(受講生200名)」にて出前講義を行いました。

地域の居場所づくり活動されている方や外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援を行っている方、町内会でコミュニティカフェを開いている方等にお話をいただきました。講義の後、ボランティアとして参加する学生もいたそうです。

「地域の居場所 てんこもりのわ」の加山勢津子代表からは学生に向けて「やりたいことは発信していかないと実現しない。声を出してみることが大切!!」というお話がありました。

学生をはじめとする若い方が、地域活動やボランティア活動に気軽に参加できるよう、神奈川県ボランティアセンターとして積極的に情報発信やコーディネートをしていきます。



みなさんのお気持ちありがとうございます

～善意銀行寄付者のご紹介～

区民の皆様・企業などからのご寄付(金銭・物品)を地域活動団体や福祉施設等へ配分しています。

令和5年1月1日～令和5年12月31日 受付分まで(敬称略・順不同)

【金銭】

- ・宗教学会孝道山本仏殿・かめたろう おもちゃ病院・東京地方税理士会 神奈川支部
- ・神奈川県シニアクラブ連合会・一九会・須川 三千子・小泉 善一・宮向自治会
- ・神奈川県生活衛生協議会・中田・横浜 劇団麦の会・横浜労働者福祉協議会 東部支部
- ・株式会社八丁幸・佐藤 博・横浜冷凍株式会社 他匿名 8名・団体

【物品】

- ・おてらおやつクラブ 浄土真宗 なごみ庵・古谷 光宏・株式会社 大塚商会・伊丹 綾子
- ・ロジスティード「まごころ基金」・パレネット株式会社・株式会社 創健社・大野 佑
- ・神奈川県ロータリークラブ・特別養護老人ホーム けやき荘・反町第一町内会
- 他匿名 3名・団体

皆様ありがとうございました。

能登半島地震 義援金のご案内

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、被災された方を支援する義援金について、本会ホームページに掲載しています。

詳しくは下記の二次元バーコードよりご覧ください。



「かながわ区社協だより」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

発行
問合せ

社会福祉法人
横浜市神奈川区社会福祉協議会
TEL: 045 (311) 2014 (代表)
FAX: 045 (313) 2420

〒221-0825

横浜市神奈川区反町 1-8-4 はーと友神奈川 1階

Email: info@kanakushakyo.com

HP: https://www.kanakushakyo.com/

HPはこちら

